

2016年度
血液透析患者実態調査からみる
透析患者の現状と課題

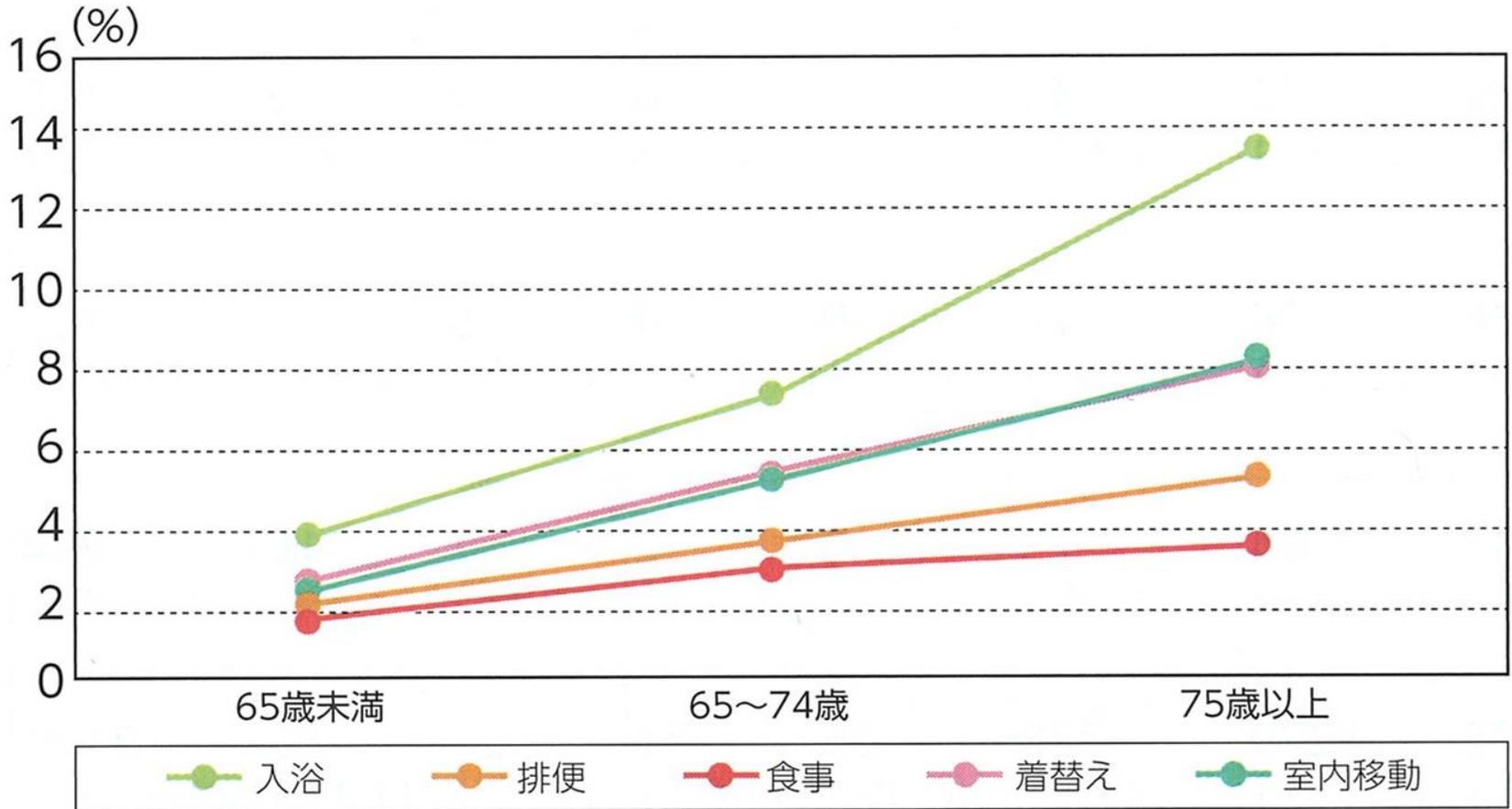
全国腎臓病協議会

榊原 靖夫

2016年 血液透析患者実態調査

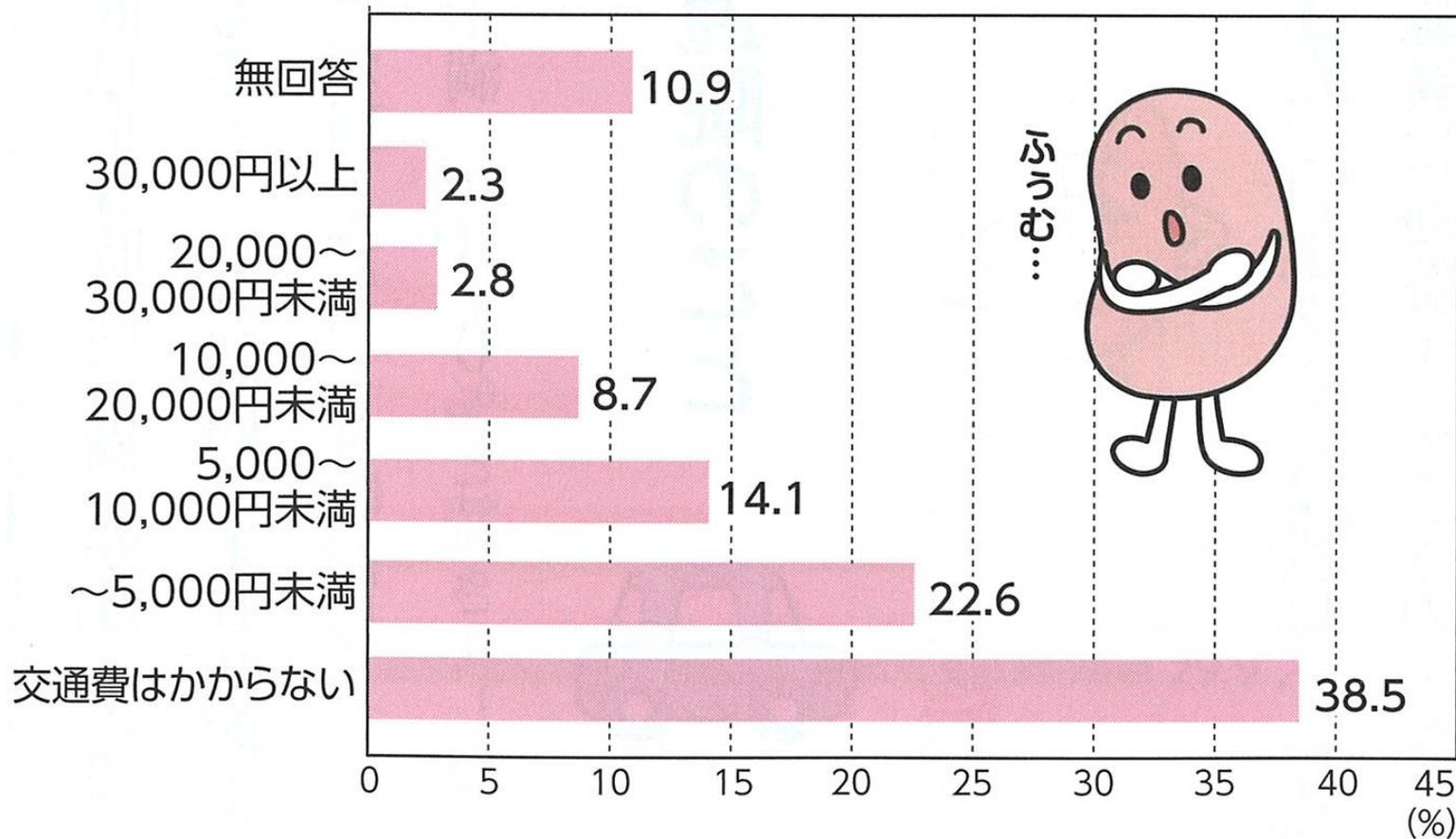
- 1971年の結成時からおおむね5年ごとに実態調査を実施。
- 10回目を数える2016年度調査は、日本透析医会に所属する施設の通院患者を対象に調査。
- 有効回答数7,191票。(回収票数94.6%)
- 全腎協、統計研究会、日本透析医会の共同調査。

日常生活動作別にみた手助けが必要は人の割合(年齢階級別分布)

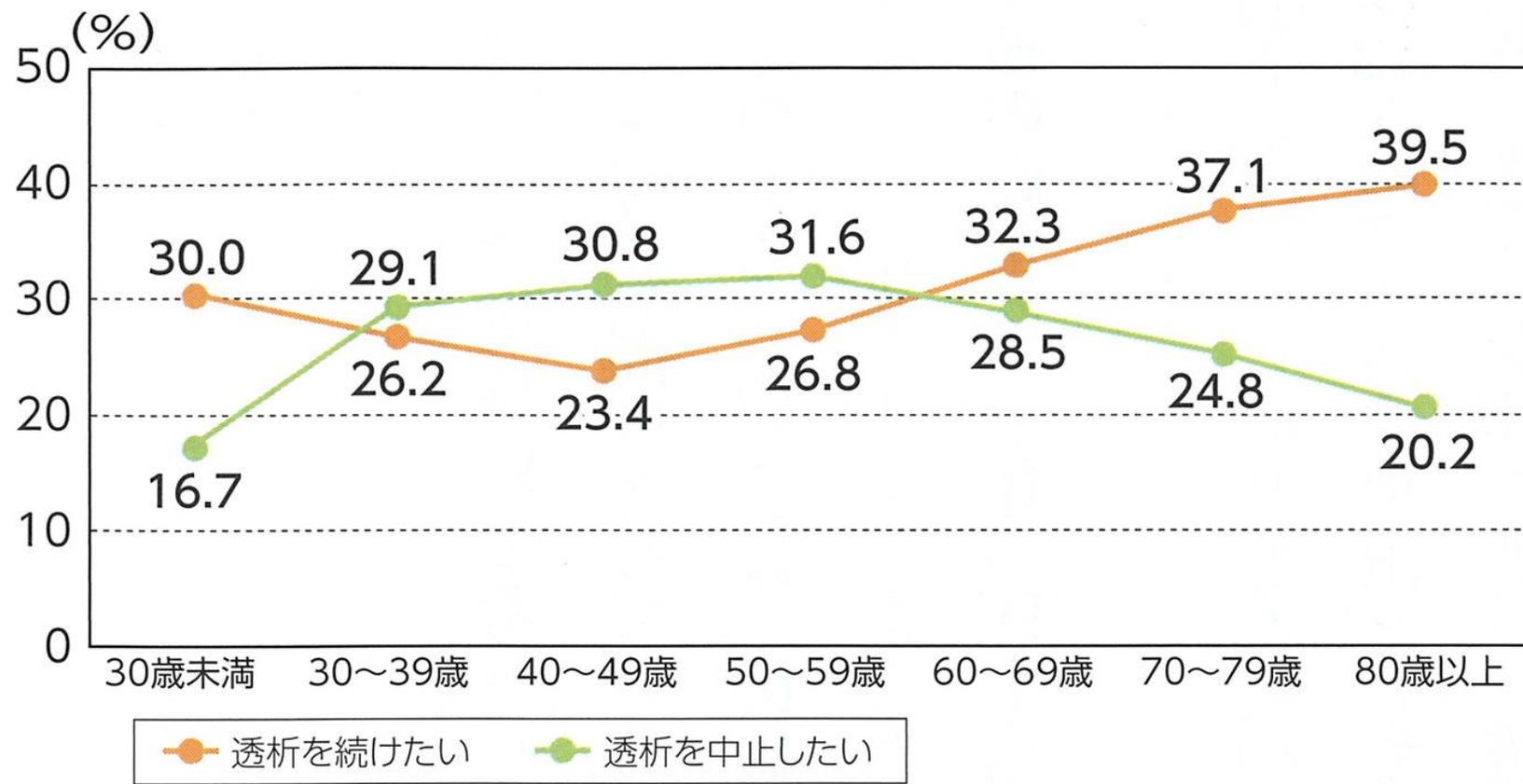


注) 手助けが必要とは「非常に難しいので時々手助けが必要」あるいは「まったくできないのでいつも手助けが必要」

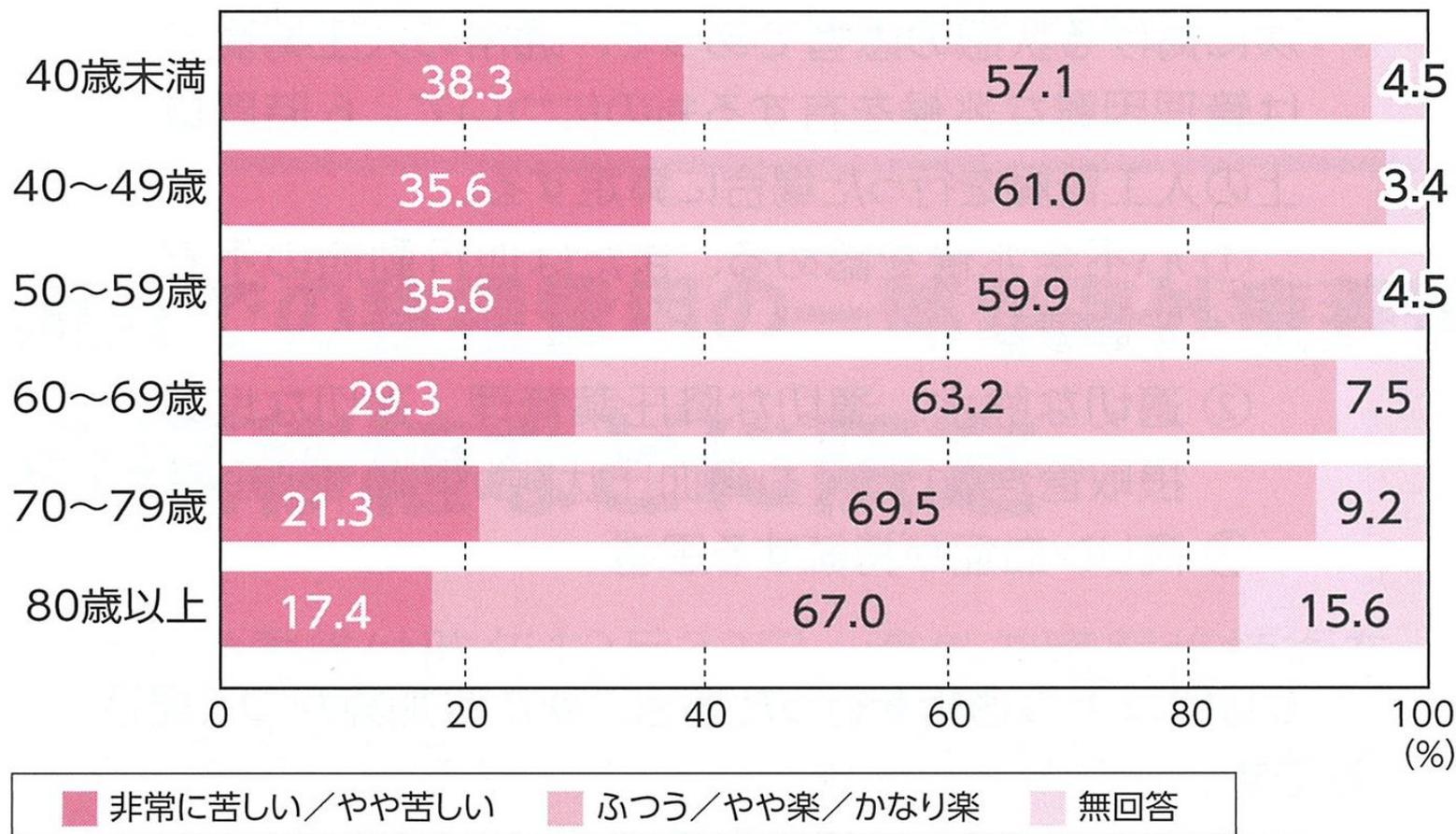
通院にかかる費用(月額)



重度認知症の場合の透析継続・中止の希望の年齢階層別分布



暮らし向きの年齢階層別分布



患者の選択基準 「選ばれる命」

▼医学的基準

- ① 適応症であること
- ② がんや長期間続いている高血圧の合併症がないこと
- ③ 若い人は原則として腎移植を考える
- ④ 体力が必要なので年齢は50歳代まで
- ⑤ 意志強固で性格安定、自己管理能力があること

▼社会・経済的基準

- ① 原則として本人の医療費負担がゼロ
- ② 家族が治療に協力的である
- ③ 勤務先が患者をあたたく迎えるという誓約書がある
- ④ 自宅・病院・勤務先に近い

患者の選択基準 「選ばれる命」

あなたは自分に打ち勝つ強い意志を持っていますか？

家族も会社もあけてあなたの治療に協力する覚悟はできていますか？

治療費は確実に払えますか...

病気になったとき、医師が治療を始める“前提条件”として問いかけたらあなたはどうするだろう。